

# ERE information

Vol.30 2016年9月16日発行

発行/特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者/石倉 正光  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号/電話(03)3267-4819/http://www.ere.or.jp/

## Contents

- ▶第30回経済学検定試験：平均点が両科目とも前回は大幅に上回る！  
——『ERE』は41点、『EREミクロ・マクロ』は33点上昇——
- ▶第25回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」：専修大学チームが4連覇！
- ▶「大学対抗戦」優勝チームを西村和雄会長が表彰
  - ・チーム内の助け合いが優勝の原動力に！（優勝チーム 久保田尚樹さん）
  - ・自主的、継続的な学習が成果を生む！（準優勝チーム 小林慎太郎さん）
  - ・目標を立て、結果を出す！（個人賞トップ 山野井誠さん）
- ▶委託会場制度利用のご案内
- ▶就活のエントリーシートにEREの成績を明示
- ▶第31回ERE実施要領
- ▶第26回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！

### 《第30回経済学検定試験》

平均点が両科目とも前回は大幅に上回る！

『ERE』は41点、『EREミクロ・マクロ』は33点上昇

2016年7月3日（日）に実施いたしました第30回ERE、EREミクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびおとりまとめご担当者の皆さまへの試験に関するご通知とご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回は、EREとEREミクロ・マクロの合計応募者数が1,188名で、昨年7月実施の第28回の応募者数（1,197名）並みとなりました。その中で、特に応募者が多かったのが明海大学で、前回（第29回）の96名を上回る104名となっています。また、首都大学東京は初めての団体申込みとなりました。

成績概要は《資料1・2》のとおりです。

EREは前回の平均点を40.9点上回りました。金融論、国際経済の平均点が前回の平均点を下回りましたが、ミクロ経済学を始めとする他の科目の平均点が前回は上回ったことが要因で平均点が上昇しました。EREミクロ・マクロの平均点は、前回は33.1点上回る224.0点となっています。

### 《資料1-1》科目別成績『ERE』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	132.5点	140.0点	62.3点	42.1点	37.1点	47.9点
(前回)	110.5点	127.5点	50.3点	46.0点	48.5点	38.2点
標準偏差	45.23点	43.81点	24.78点	22.56点	16.33点	20.41点
(前回)	42.01点	47.67点	22.36点	18.09点	19.05点	21.02点

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	108.5点	115.4点
(前回)	92.9点	98.0点
標準偏差	45.41点	40.47点
(前回)	40.73点	41.03点

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	70名	1,118名
受験者数	52名	924名
平均点	461.9点	224.0点
標準偏差	135.45点	78.70点
最高得点	710点	470点
最低得点	170点	80点

《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	明海大学	104	18	立正大学	14
2	龍谷大学	61	19	長崎大学	12
3	青山学院大学	58	19	首都大学東京	12
4	日本大学	45	21	宇都宮大学	10
5	麗澤大学	32	21	旭川大学	10
6	弘前大学	31	21	名古屋学院大学	10
7	中央大学	30	21	神戸国際大学	10
8	大分大学	29	21	岡山商科大学	10
9	九州産業大学	22	26	創価大学	9
10	札幌大学	21	26	九州共立大学	9
10	広島修道大学	21	28	小樽商科大学	7
12	専修大学	19	28	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	7
13	大阪産業大学	18	30	東北大学	6
14	福島大学	17	30	新潟産業大学	6
14	明治大学	17	32	立命館大学	3
16	武蔵野大学	16	33	東京国際大学	2
17	高崎経済大学	15	33	関東学院大学	2
				個人申込	493

※団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」+「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	一橋大学	経済学部	杉野 隆 弥	S
2	首都大学東京	都市教養学部経営学系	辻井 雪 菜	A+
3			松田 麟太郎	A+
3			金重 洸 紀	A+
5	みずほ情報総研株式会社		山本 晃 平	A+
6			清水 邦 敏	A
7			高橋 直 樹	A
8				A
8				A
10			樋口 颯	A
10	多摩川精機(株)		坂巻 貴 紀	A
12	前川公認会計士事務所	所長	前川 克 博	B+
12	大阪経済大学	経済学部	田部 隆之介	B+
12	広島修道大学	経済科学部現代経済学科	中光 優 太	B+
15			謝 凡	B+

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
15			山 中 祥 英	B+
17			出 田 晴 之	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
1			陳 朕 裕	S
2			金 健	S
2			LUO XIANWEI	S
2			HUANG XIAOFENG	S
5			鐘 斯 慧	S
5	慶應義塾大学	商学部	合 田 陽 亮	S
5			謝 珊 珊	S
5			ZHANG NI	S
5			LI PENGKUI	S
5			LI WEITING	S
11			YAO TUOBING	S
11			HUANG ZHIHAO	S
11			楊 玉 テ イ	S
11	M S C Management	代表取締役	鳥 本 昌 和	S
15			单 雪 菲	S
15			祖 希 睿	S
15			呉 天 鑰	S
15	行知学園		張 逆 成	S
15			渡 邊 大 生	S
15			J I A N G C H E N	S
21			韓 上	S
21			王 雨	S
21			y a n j u n q i a n g	S
21			易 山	S
21	日本大学	経済学部	達 晶	S
26				S
26			石 岩	S
26			L I S H E N G Y U	S
26			C A O Z H A O	S
26			Q I U X I A N A N	S
26				S
26	大阪産業大学	経済学部	山 野 井 誠	S

## 2016年12月受験用 ERE経済学検定試験 問題集

- 第27回～第30回の試験問題360問と解答・ポイント解説を掲載
- 出題傾向の把握が可能

日本経済学教育協会 認定 経済法令研究会 編  
A5判 304頁 予価1,900円+税

## 《第25回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

### 専修大学チームが4連覇！

準優勝は福島大学「経済分析同好会」／個人賞トップは山野井誠さん

第25回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、8校14チーム、計100名で競われました。

優勝は、専修大学「経済学検定演習講座A」チームでした。1,350点を獲得して、前回に引き続き優勝となり、4回連続となりました。準優勝チームは、1,260点を獲得した福島大学の「経済分析同好会」チームです。第3位には、1,220点を獲得した（専）福岡カレッジ・オブ・ビジネスの「F・C・B経済学愛好会。'16」チームが入りました。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、410点を得点した大阪産業大学「大産大 大谷ゼミ」チーム山野井誠さんです。なお、個人賞は330人以上11名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チーム上位4名までの平均点は274.46点で、前回は41.87点上回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	経済学検定演習講座A	専修大学	1,350点	337.5点
準優勝	経済分析同好会	福島大学	1,260点	315.0点
第3位	F・C・B経済学愛好会。'16	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	1,220点	305.0点

※参加メンバーの上位4名の総合成績です。上位4名までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

## 《「大学対抗戦」優勝チームを西村和雄会長が表彰》

### 4連覇の専修大学「経済学検定演習講座A」チームを西村会長が表彰！



4連覇を表彰する西村会長（写真上）と「経済学検定演習講座A」チームのメンバー（写真下）

専修大学は、第22回から今回まで4回連続の「大学対抗戦」優勝となりました。過去に連続優勝したのは、第8回から第18回まで11連覇した創価大学、第3回から第6回まで4連覇した早稲田大学の2校のみで、これに肩を並べる快挙となりました。

去る9月5日（月）、今回優勝した専修大学を西村会長が訪問し、「経済学検定演習講座A」チームを表彰いたしました（写真）。専修大学では平成25年から公務員試験受験対策のため、石川秀樹先生を招聘し、活発な授業が行われています。その一環として、E R E 試験を活用しているとのこと。専修大学の益々のご活躍を期待いたします。

また、これを機に、今後も「大学対抗戦」優勝チームの表彰を検討いたします。

## ■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

### ☆優勝（4回連続） 専修大学「経済学検定演習講座A」

#### チーム内の助け合いが優勝の原動力に！

この度は、E R Eミクロ・マクロ「大学対抗戦」において優勝することができ、とても嬉しく思っています。今回の優勝で専修大学として4連覇を達成しました。過去3回優勝が続いていたため、大きなプレッシャーがありましたが優勝することができたのは、石川秀樹先生の丁寧なご指導とエクステンションセンターの職員の方々のサポートのおかげだと思っております。この場を借りて感謝申し上げます。

私たちの大学では、公務員試験突破の中間目標としてE R Eミクロ・マクロの受験が推奨されており、経済学の理解をより深めたいと思う学生が集まって勉強するようになりました。

その中で数人のチームを作り、分からない箇所をお互いに教えあうことで効率よく学習を進め、全体のレベルアップを図りました。私自身も仲間に教えることで、理解が不十分なところを発見し、各分野の弱点を克服できたと思います。

今回優勝することができましたが、これで慢心せずさらに勉強を続けるとともに、これからも大学対抗戦で優勝することができるように後輩たちを指導していきたいと思っております。

(専修大学 経済学検定演習講座A 久保田尚樹さん)

### ☆準優勝 福島大学「経済分析同好会」

#### 自主的、継続的な学習が成果を生む！

E R Eミクロ・マクロ「大学対抗戦」において準優勝という結果を残すことができ、大変嬉しく思います。この結果は各人の努力だけではなく、ゼミでの先生方のご指導や学習会で一緒に励んだメンバーのおかげだと感じています。この場を借りて感謝申し上げます。

福島大学では通常の講義以外にも、サブゼミや学習会があり、経済学を学ぶ環境が整っています。サブゼミではゼミの先生が、基礎の定着と疑問点の解決をサポートしてくださいます。週1回の学習会ではE R Eの過去問を解き、メンバー同士で分からない箇所を教えあって、理解を深めています。そして、試験の直前には難易度の高い問題に取り組み、全体のレベルアップを図っています。このようなことが、準優勝という結果につながったと思います。

今回の成績に満足することなく、メンバー全員で切磋琢磨し、次回は大学対抗戦優勝を目指して学習に励みたいと思っております。

(福島大学 経済分析同好会 小林慎太郎さん)

### ☆個人賞トップ

#### 目標を立て、結果を出す！

この度は、E R Eミクロ・マクロ「大学対抗戦」において個人賞トップという結果を残すことができ、大変嬉しく思います。このような結果を収められたのも、所属する「上級キャリアプログラム」の担当教員である大谷剛准教授をはじめとする先生方の熱意溢れるご指導や、一緒に勉強した仲間との切磋琢磨があったからだと思っております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

本校の「上級キャリアプログラム」とは、E R Eの受験などを通じてワンランク上の就職・進路を目指すものです。そこでは、基礎理論から上級理論に至るまで丁寧に根気強く教えてくれます。また、希望者に対しては、週2回程度の課外講義も実施され、そこに集まった意識の高い仲間との時間もまた、私を大きく成長させてくれたように思います。

E R Eの受験を通じて得られたことは、目標を立て、それをクリアするための方法を検討し、その方法を実行することで、結果を出せたということです。

当たり前のことかも知れませんが、このプロセスを実際に経験できたことは自信につながっています。

(大阪産業大学 大産大大谷ゼミ 山野井誠さん)

## ▶委託会場制度利用のご案内

現在、全国に12の本会場を設け、「E R E（経済学検定試験）」を実施しておりますが、該当県外に住む受験希望者からみて会場が遠方にあることにより、「希望者がいても、なかなか受験に直結することができない」との声があります。最近では「交通費をかけて県外の受験会場へ足を運ばせるのも学生の大きな負担となるため、委託会場としての実施を検討したい」というお話を頂戴する機会が増えてまいりました。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込をいただく場合は「団体受験申込制度」があり、以下の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。すでに20団体を超える大学に登録・実施をいただいております。少しずつ全国に広がりを見せている制度です。どうぞご利用ください。

### ●委託会場とは

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものをいいます。

### ●委託会場設置条件とは

委託会場設置のためには、下記の条件を満たす必要があります。

- ① 協会が定めた試験実施日時を厳正に遵守すること。
- ② 受験申込者数が2種目（E R E／E R Eミクロ・マクロ）の合計で10名以上であること。
- ③ 試験当日の会場責任者として、試験申込責任者もしくはそれに準ずる者を選任すること。
- ④ その他、協会で定める規程等を厳正に遵守すること。

### ●試験実施までの流れ

〈試験前に行っていただくこと〉

- ① 到着資材の確認
- ② 試験問題等重要資材の保管

〈試験当日〉

運営方法を記した『試験実施規定』にもとづき、厳正に試験を監督・実施。

〈試験終了後〉

遅滞のないよう答案等試験資材を検定試験運営センター宛に返送。

本会場受験者と同じの手続きにより採点し、成績結果を通知します。

### ●実施手数料のお支払い

委託会場としての登録・設置を事前にいただき、当日の試験運営を行っていただく場合は、団体取りまとめ手数料10%に加え、委託実施手数料として受験料の15%（合計で25%）をお支払いします。お支払方法は、受験料より差引入金していただくことで行います（申込者が10名に満たない場合は、手数料のお支払いはありませんが、委託会場として実施をいただくことはできません）。

委託会場制度をご利用いただく場合は、事前にご連絡ください。団体申込用F D願書のご請求時に所定の用紙「委託会場設置届出書」をお送りします。詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

### ■検定試験運営センター■

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

Tel：03-3267-4821 Fax：03-3267-4999 e-mail：info@ere.or.jp

## 就活のエントリーシートにEREの成績を明示

ERE（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する機会が増えていきます。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

### ■特 徴

本試験の結果は合否ではなく、SランクからDランクまでの7ランクで評価され、かつ、受験回数に制限がないことにより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の検証とし、多くの大学生等が利用しております。

また、大学対抗戦においては、参加者自らが自主的にチームを結成し成績を競うことにより、大学の枠を越えお互いに経済学を理解しあう場として利用されています。

### ■出題科目等

#### 〔ERE〕四答択一式・90問・180分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問／財政学：10問／金融論：10問／  
国際経済：10問／統計学：10問 計90問・900点満点

#### 〔EREMикро・マクロ〕四答択一式・50問・100分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

### ■活 用 例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学におけるカリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院入学の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・自己啓発等の成果の検証として
- ・公務員試験の準備として

### ■備 考

現在、ERE（経済学検定試験）は、7月・12月の年2回、全国12の試験会場において実施しており、年間約3,000名強の方々が受験しています。その主な受験層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業の受験者となっています。

#### 《資料請求・お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21  
TEL：03-3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp

— 経済学の学習到達度を測定 —

## 2016年度 第31回 E R E 実施要領

『E R E』（6科目）

実施回	第 31 回
試験日	2016年12月4日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2016年9月21日（水）～2016年10月21日（金）〈消印有効〉
受験料	5,400円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4択一式／90問，1問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 31 回
試験日	2016年12月4日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2016年9月21日（水）～2016年10月21日（金）〈消印有効〉
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
受験料	3,240円（税込）
出題形式	4択一式／50問，1問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

## 第26回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2016年12月4日(日)実施 ●受付期間：2016年9月21日(水)～10月21日(金)〈消印有効〉

●前回まで参加した52校（50音順）

青山学院大学／跡見学園女子大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／  
大阪産業大学／大阪商業大学／大阪府立大学／小樽商科大学／鹿児島大学／金沢大学／  
九州大学／京都大学／熊本学園大学／熊本壺溪塾学園／群馬大学／慶應義塾大学／  
埼玉大学／札幌大学／上智大学／成蹊大学／専修大学／創価大学／高崎経済大学／  
中央大学／筑波大学（同大学院）／帝塚山大学／東京大学／東京理科大学／  
同志社大学／東北大学／東洋大学／長崎県立大学／名古屋大学／名古屋市立大学／  
名古屋学院大学／名古屋経済大学／新潟大学／日本大学／一橋大学／兵庫県立大学／  
福岡カレッジ・オブ・ビジネス／福島大学／北海道大学／武蔵大学／武蔵野大学／  
明治大学／山形大学／立命館大学／琉球大学／和光大学／早稲田大学